

# 公益財団法人新潟県スポーツ協会

## 令和6年度 事業報告

### 第1章 総括

#### I 事業の総括

令和6年度は、「中期計画2023-2027」（以下「中期計画」という。）の2年目に当たり、中期計画においてミッションとビジョンを明確化した上で、その達成・実現に向けて定めた「重点施策」及び「公益スポーツ団体としての取組」を多面的・総合的に展開した各種事業の着実かつ効果的な実施に努めた。

また、改革推進期間の2年目であった中学運動部活動の地域移行については、県教育委員会等とも連携して、運営団体ミーティング等により地元での取組を促進するなど、子どもたちのスポーツ環境の再構築を総合的に支援した。

中期計画では、その進捗状況を毎年度把握するため、成果指標、活動指標を設定しているが、その2年目における達成状況は評価対象の20指標のうち、「順調」が10（50%）、「概ね順調」が2（10%）、「やや遅れている」が1（5%）、「遅れている」が7（35%）という結果であり、詳細は別に掲載のとおりである。

今後とも、引き続きスポーツ・インテグリティの強化に努めながら、本県スポーツの推進と競技力の向上などに取り組んでいく。

#### II トピックス

- 1 クローズアップされている休日の中学運動部活動の地域移行について、令和6年度は3年間の改革推進期間の2年目に当たり、当協会としては、学校部活動に代わる、より望ましい地域スポーツ環境を新たに整備する取組であるとして、その取組の円滑化に向け、4つの新規事業を含め、多様な事業を総合的に展開し、市町村や地域スポーツ団体による情報共有と課題解決のための場づくりなどの環境整備や支援活動に取り組んだ。
- 2 令和4年度から新たにスタートした「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」については、3年目の実績として、県内4会場で初年度の約2.6倍にあたる3,617名の参加者を数え、盛況に開催したところである。引き続き、趣旨に賛同いただくパートナー企業及び地域スポーツ関係団体や障害者スポーツ協会等と連携して、このプロジェクトを軌道に乗せ、安定的に持続していくよう取り組む。
- 3 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者として、適切かつ効率的な施設管理を行いながら、競技水準向上及び健康づくり活動を推進した。併せて、より一

層の「賑わい」の創出と「活性化」に努め、魅力ある施設として県民に認識されるよう取り組んだ。

- 4 加盟団体とともに、新潟県のスポーツ・インテグリティを強化し、クリーンでフェアなスポーツの推進に取り組んだ。加盟団体におけるスポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況に係る自己説明とその公表について、今後とも着実にその割合を高めていく。

※数字は決算額、（ ）は予算額

## 第2章 事業内容

### I 重点施策

#### 第1 世代等を問わず、スポーツをもっと身近なものにする〔公益事業〕

＜県補助、県受託、JSP0受託、JSP0助成、toto助成、自主、その他＞

県民だれもが自ら望むスポーツを身近で生涯にわたって楽しむことができるよう、当協会に設置した「新潟県広域スポーツセンター」業務を中心として、地域スポーツの担い手である市町村スポーツ協会・スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）の育成をはじめ、地域におけるスポーツ環境の整備充実活動全般について支援した。

折しも、休日の中学運動部活動の地域移行が令和5年度からの3年間を改革推進期間としており、喫緊かつ重大な課題であることから、その円滑化に向け重点的に支援した。

##### 1 休日の中学運動部活動の地域移行の円滑化及び新たな地域スポーツ推進体制の構築に向けた支援 5,651,811円（6,778,000円）

###### （1）地域スポーツ推進体制構築支援事業

休日の中学運動部活動の地域移行が新たなフェーズに入ることから、市町村における運営団体の連携強化や質的向上を図る「運営団体ミーティング」や、競技団体と地域スポーツ団体等が連携して中学生世代を中心とした青少年の多様なスポーツ機会を確保するための「中学生世代の多様なスポーツ推進ミーティング」、加盟団体等の研修活動を支援する「地域スポーツ推進体制づくり支援活動」を実施するとともに、日本スポーツ協会のアシスタントマネージャー（マネジメント資格）及びスポーツコーチングリーダー（基礎資格）を養成し、指導者の数の増加と質の向上を推進した。また、親子の運動機会創出活動をスポーツ体験キャラバンと連携して県内4会場で実施した。更に、総合型クラブの登録審査を行うとともに、地域のスポーツ環境の担い手となる諸団体と行政との連携強化を促進し、地域課題の解決に向けた取組の共有とその実践の促進を図るため、「地域スポーツ推進団体連絡会議・ワーキンググループ」を4回開催した。

## (2) 競技団体理事長・強化総括責任者会議の開催【再掲】

競技団体に対して、年3回の会議を通じて、傘下の加盟スポーツ団体への周知や協力要請等、地域の受け皿整備を促進した。

## (3) 公認スポーツ指導者コーチ1養成講習会の開催【一部再掲】

ジュニア指導に必要な「コーチ1」の取得を促進するため、6競技の養成講習会を開催した。

## 2 子どもの運動遊びや様々なスポーツを楽しむ機会の提供 2,641,011円 (4,000,000円)

### (1) にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの推進

子どもたちの健やかな育成とスポーツの振興を図るため、パートナー企業の協賛と加盟団体等との連携を得て、スポーツ体験キャラバンを県内4会場で開催し、子どもたちに親子で楽しむ運動遊びや様々なスポーツに親しむ機会を提供し、3,617名の親子の参加を得た。また、このプロジェクトを通じてSDGsにも貢献した。

### (2) 運動遊びの機会創出及び支援

子どもたちに楽しい運動遊びの機会を提供するため、JSPO-ACPの普及促進や親子の運動機会創出活動を推進した。また、幼児期からの運動習慣アップ支援事業で養成した地域専門人材のスキルアップを支援した。

## 3 総合型地域スポーツクラブの育成及び基盤強化の支援 4,421,804円 (4,897,000円)

### (1) 登録・認証制度の運用及び中間支援組織機能の強化

令和4年度から運用開始された総合型クラブの登録・認証制度の運用を通じて、総合型クラブの質的な向上や創設を支援するとともに、本会の中間支援組織としての機能強化を図った。

### (2) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

地域スポーツの担い手である総合型クラブの創設・育成及び質的向上と連携強化を図るため、総合型クラブ研修会を2回開催するとともに、第3期総合型地域スポーツクラブ経営サポート事業（2年継続の初年度）を実施し、専門家の知見を活用して、指定した3クラブの個別課題の解決に向けた取組を支援した。

### (3) クラブアドバイザーの配置

スポーツ振興くじ助成金（独立行政法人日本スポーツ振興センター）のクラブアドバイザー等配置事業を活用して、クラブアドバイザーを1名配置し、総合型クラブの育成と普及を図るとともに、自立的な運営の促進に向けた支援を担う中間支援組織の業務を推進した。

4 スポーツ少年団の健全育成 12,586,770円 (14,331,000円)

(1) 新潟県スポーツ少年団の運営

スポーツを通じて健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団の理念を踏まえ、第11次育成5か年計画と連動した取組を進めた。また、財政基盤強化のため令和7年度からの登録料改定を決定した。

ア 登録数の拡大

県内全市町村におけるスポーツ少年団の設置・登録（妙高市・出雲崎町未登録）及び登録者（団員・指導者・役員・スタッフ）の増加を目指したが、団数・登録者数ともに減少した。

イ 登録状況

区分	団数・人数	前年度比
市町村	28団	—
単位団	446団	△64団
指導者	1,250名	△339名
単位団役員・スタッフ	802名	13名
県・市町村役員・スタッフ	139名	△23名
団員	9,104名	△598名
	男子 6,346名	△349名
	女子 2,758名	△249名

ウ 広報・情報提供等の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」（1.5万部発行）等により広報・情報提供を推進した。

エ 顕彰の実施

表彰名	表彰数等
新潟県スポーツ少年団顕彰 単位団	2団
登録者	5名
日本スポーツ少年団顕彰 市町村	関川村・長岡市
登録者	3名

オ 関連会議の開催・参加

新潟県スポーツ少年団の関連会議（総会・正・副本部長会議、表彰選考委員会、11専門部会等）を開催し、事務・事業の円滑な実施を図るとともに日本スポーツ少年団の諸会議及び北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会の会議に参加した。

会議名	期日	会場
総会 第1回	令和6年6月4日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和7年3月4日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
正・副本部長会議	令和7年2月25日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

本部長及び副本部長 候補者選定委員会	令和7年2月25日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
-----------------------	-----------	----------------------

(2) 県大会等各種事業の実施 ※参加者数は新潟県の参加者数

ア 広域（地域）活動の支援

地区連絡協議会が実施する事業に助成し、各地区におけるスポーツ少年団活動の充実を図った。

イ 県大会の実施

第44回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会を開催した。

開催競技	期間	開催地	参加者数
剣道、卓球、バドミントン、 柔道、空手道、軟式野球、 サッカー、少林寺拳法、 バレーボール、 ミニバスケットボール	令和6年4月28日 ～10月13日	新潟市、長岡市、 上越市、三条市、 村上市、五泉市、 十日町市	2,524名

ウ 北信越ブロック事業の開催・参加

開催競技	期間	開催地	参加者数
第55回北信越ブロック スポーツ少年大会	令和6年9月14日 ～16日	長野県	参加者なし
第44回北信越ブロック スポーツ少年団 競技別交流大会	卓球 令和6年9月21日 ～22日	富山県	参加者なし
	バドミントン 令和6年9月14日 ～15日	富山県	17名
	柔道 令和6年9月28日 ～29日	富山県	11名
	バレーボール 令和6年11月2日 ～3日	富山県	15名
第46回全国スポーツ少年団 軟式野球交流大会 北信越大会	令和6年7月6日 ～7日	福井県	1団 13名

エ 全国交流大会等への派遣

開催競技	期間	開催地	参加者数
第62回全国スポーツ 少年大会	令和6年7月27日 ～30日	秋田県	参加者なし

第46回全国スポーツ少年団 軟式野球交流大会	令和6年8月1日 ～4日	鳥取県	北信越大会 敗退により 参加者なし
第47回全国スポーツ少年団 剣道交流大会	令和7年3月28日 ～30日	大分県	小学生団体 指導者1名 団員5名 個人戦 中学生男女 各1名
第22回全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会	男子 令和6年12月27日 ～29日	愛媛県	北信越大会 敗退により 参加者なし
	女子 令和6年12月27日 ～30日	愛媛県	1チーム 指導者1名 団員11名

オ 国際交流活動

事業名	期間	派遣（受入）先	人数
第51回日独スポーツ少年団 同時交流	令和6年7月29日 ～8月15日	ドイツ フランクフルト他	派遣なし
第51回日独スポーツ少年団 同時交流中央事前研修会	令和6年5月18日 ～19日	オンライン	派遣なし
第51回日独スポーツ少年団 同時交流北信越ブロック 事前研修会	令和6年6月22日 ～23日	富山県 総合体育センター	派遣なし
第51回日独スポーツ少年団 同時交流（受入）	令和6年7月23日 ～8月6日	福井県、富山県	受入なし

(3) 指導者の養成と資質向上の促進 ※参加者数は新潟県の参加者数

研修会等	期日	開催地	参加者数
スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会	令和6年10月19日	長岡市	46名
	令和6年11月16日	新潟市	46名
	令和6年12月7日	新潟市	41名
スタートコーチ（ジュニア・ユース）インストラクター再委嘱研修会	令和6年10月6日	東京都	2名
第7回ジュニアスポーツフォーラム	令和6年6月16日	東京都	2名

北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	令和6年11月16日	長野県	1名
新潟県スポーツ少年団指導者研修会 (新潟県スポーツ協会 スポーツ・インテグリティ 研修会と兼ねて実施)	令和6年10月5日 ～6日	佐渡市 上越市	45名
JSPO-ACP講師講習会	令和6年8月3日 ～4日	東京都	1名
JSPO-ACP研修会 (JSPO主催)	令和6年7月13日	三条市	66名

(4) リーダーの養成 ※参加者数は新潟県の参加者数

研修会等名称	期日	開催地	参加者数
新潟県スポーツ少年団 リーダー会総会	令和6年7月27日	長岡市	8名
シニア・リーダースクール	令和6年8月8日 ～11日	静岡県	参加者なし
ジュニア・リーダースクール	令和6年8月17日 ～19日	妙高市	15名
全国スポーツ少年団 リーダー連絡会	令和6年11月10日	東京都	2名
北信越ブロックスポーツ 少年団リーダー研究大会	令和6年10月26日 ～27日	妙高市	7名

5 市町村スポーツ・体育協会との連携【再掲】 ー円 (ー円)

(1) 加盟団体連携会議の開催

(2) 地域スポーツ推進体制構築支援事業

市町村スポーツ・体育協会が、各地域において引き続き重要なスポーツ推進機能を発揮していくよう、様々な機会を通じて適切な情報提供・共有を進め、連携を深めた。

6 健康づくりの推進 104,341,006円 (107,735,000円)

(1) 健康づくり実践指導事業

県民全体の健康寿命の更なる延伸を目指して、新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの機能の活用により、健康づくり実践指導事業を積極的に推進し、生涯にわたり健康と体力を継続的に維持増進できるよう支援した。

事業名	内容	参加者数	前年度比
生活習慣しっかり改善コース	健康づくりのモデルコースとして実施し、有益なデータや取組事例を蓄積・発信した。	992名	101.3%
親子コース	健やかな生活習慣の基礎を確立できる「親子健康づくりプログラム」の開発を目指し、小児科医の講話、運動・調理体験などをテーマに親子で絆を深めながら一緒に学べるモデルコースを開催した。	168名	294.7%
健康づくり実践指導者研修会	健康づくり活動を実践的に指導できる指導者の人材育成を図るため、改善コースと親子コースへのコース参加型と指導者ニーズ対応型の研修を実施した。	251名	38.6%
個別プログラムサービス	健康づくりに取り組みたい方を対象に、生涯にわたり健康と体力を継続的に維持増進できるよう支援した。また、フィットネスホール利用者の長期的な利用を促進した。	1,114名	123.4%
健康づくりのための運動指導者研修会	生活習慣病予防対策として運動習慣の普及・定着を推進するため、研修会を開催し、健康づくり指導者等の資質の向上を図った。	86名	119.4%
ケアコンディショニングサポート事業	健康的な生活を送り学校部活動に活用する能力・意識を高めるため、児童・生徒を対象に、「運動・栄養・休養の理解と実践及び体力の簡易測定」を実施した。	588名	50.5%
合計		3,199名	83.6%

## (2) 施設（フィットネスホール、研修室等）の活用促進

施設名	内容	利用者数	前年度比
フィットネスホール	県民の運動習慣を促進するため、各種事業との連携を図り、定期券や回数券を発行するなど利用者のニーズに対応し長期的、継続的な利用の促進を図った。	19,798名	98.2%

研修室等	メディアの活用や、公共施設・デンカビッグスワンスタジアムとの連携により、研修室等の認知度を高めるとともに、設備機器などの利用者ニーズに対応した。	4,477名	91.5%
合計		24,275名	96.9%

### (3) スポーツと健康づくりの情報発信

ウェブサイトやリーフレット等広報媒体を活用し、スポーツと健康づくりに関連した情報発信に努めた。

### (4) 県民講座の開催

健康づくり及び競技スポーツに関する公開講座や運動教室、専門者向けの講習会等を開催した。また、センターの賑わい創出を図るイベントを開催した。

内容（開催数）	参加者数	前年度比
一般講座（39回）	762名	124.9%
専門講座（2回）	40名	64.5%
にぎわいイベント（3回）	1,444名	99.5%
合計	2,246名	105.8%

### (5) 診療所の運営

新潟大学医学部及び県内医療機関との病診連携により診療の充実に努め、県民のスポーツや健康づくり活動を医学的見地から支援した。

内科	体力測定及び生活習慣しっかり改善コース、個別プログラムサービス受講者の医学検査を通じた健康支援と生活習慣病、運動喘息等の外来診療を行い、競技選手や健康づくり実践者の早期回復、早期復帰を支援した。
整形外科、リハビリテーション科	スポーツによる障害・外傷とロコモティブシンドローム等の外来診療を行い、競技選手や健康づくり実践者の早期回復、早期復帰を支援した。

内容		利用者数	前年度比
内科	体力測定医学検査	620名	171.7%
	健康づくり医学検査	195名	98.0%
	小計	815名	145.5%
整形外科外来診療		1,671名	118.3%
リハビリテーション外来診療		1,293名	125.0%

自主事業内科外来診療	222名	144.2%
合計	4,001名	126.6%

#### (6) 日本スポーツマスターズへの参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として長崎県において開催された「日本スポーツマスターズ2024長崎大会」(実施競技13競技)への参加業務を行った。(本県参加者 8競技113名)

### 7 新潟県広域スポーツセンター事業の推進 12,783,422円 (12,761,000円)

#### (1) 新潟県広域スポーツセンターの運営等

新潟県スポーツ推進プラン(平成28年3月策定)に基づき当協会に設置された「新潟県広域スポーツセンター」を運営し、県民一人ひとりが日常生活にスポーツを取り入れる社会の実現を図るために、スポーツと地域活性化の好循環創出事業、総合型地域スポーツクラブ経営サポート事業、総合型地域スポーツクラブ育成事業、地域スポーツ人材養成事業を推進した。また、新潟県スポーツ施設協会の運営及びスポーツ関連の各種アンケート・調査、統計資料の作成などを行い、新潟県広域スポーツセンターウェブサイトによりスポーツ情報の収集・発信を行った。

## 第2 スポーツと地域活性化の好循環の仕組みをつくる [公益事業]

### <県受託>

地域資源を活かしたスポーツの推進や他県からのスポーツ合宿の誘致、スポーツツーリズムなど、スポーツによる地域活性化の取組を支援した。

#### 1 地域資源を活かしたスポーツの推進による地域活性化の取組の支援【再掲】

一円(一円)

##### (1) スポーツと地域活性化の好循環創出事業

県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指すため、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくりに取り組む活動の支援を通じ、スポーツによる地域活性化を推進する第3期(3年継続の3年目)事業を実施した。

指定団体	活動概要
NPO法人サードフィールドさど	「アウトドアスポーツで人を育て佐渡を元気にする」ため、佐渡観光交流機構や旅館組合等と連携し、加茂湖でのマリンスポーツ事業やウインターアクティビティ、サイクリング活動など年間を通じて、ジュニアの育成と体験型の観光振興を図った。

十日町市スポーツ コミッション	「地域資源（自然・文化・食・スポーツ・人々など）を活かした「地域ツーリズム」づくり」のため、地域ツーリズム研究会の開催（4回）や県内外モニター参加による雪国体験・教室グランピング宿泊体験イベントを開催した。
NPO法人Tap	「地域資源の新しい「つながり」をつくり出す」ため、多様な主体と連携したトライアル事業（地域資源を活かしたトレッキング）の実施や雪国スポーツの継承を図るため、子どもたちへの調査活動等を行った。

## 2 スポーツを通じた交流人口の拡大につながる取組の支援 735,720円 (3,936,000円)

### (1) 交流人口拡大合宿等誘致推進事業

競技力向上とともにスポーツを通じた交流人口の拡大を図るため、県内の競技団体が他県から選手を招致して合宿や大会を開催する取組に対し、陸上・フェンシング・山岳の3競技4事業に対して支援した。

## 第3 トップアスリートの育成を目指し、本県競技力を向上させる[公益事業]

### <県補助、県受託、JSP0受託、自主、その他>

世界に羽ばたくトップアスリートのより多くの育成を目指し、加盟競技団体・学校体育団体等と連携し、スポーツ医科学の知見も踏まえた一貫した指導体制のもと、ジュニア期からトップレベルへと育成していくとともに、県内企業・団体等における社会人アスリートの雇用を促進・拡大し、その生活基盤を安定させることで県内定着を図った。

### 1 オリンピック出場が期待できるトップアスリートの強化活動の支援

19,791,000円 (20,000,000円)

#### (1) オリンピックアスリート夢チャレンジ事業

強化指定選手等の国内外の遠征や強化活動に対して支援を行った。

夏季：A指定13名（6競技9種目）、B指定18名（6競技13種目）

冬季：A指定6名（2競技5種目）、B指定14名（2競技4種目）

### 2 ジュニア選手の強化活動の支援、実績豊富な指導者の配置

67,559,231円 (72,180,000円)

#### (1) 新潟ジュニア育成事業

競技団体が小・中学生を対象として行う競技人口の拡大のための体験会や、ジュニア選手（小学生・中学生）を対象とした計画的・継続的な強化活動の実施により、国スポ等の全国大会で活躍できる競技力の向上やトップアスリートの育成を図った。

た。(37競技)

なお、78国スポにおいて少年種別は27.5の入賞数であった。

※スキー女子クロスカントリーリレーは、成年女子と少年女子で0.5ずつ按分

## (2) 育成指導者配置事業

競技力向上を図ることのできる競技に優秀な実績を有する指導者を配置し、7競技9名が国スポ選手やジュニア選手に対して指導を行った。

## (3) 高等学校体育連盟助成金

(公財) 日本スポーツ協会のオフィシャルパートナーである大塚製薬(株)が実施する「推進費付き自動販売機設置事業」を活用し、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を新潟県高等学校体育連盟へ活動助成金として交付した。

## 3 国スポ候補選手の強化活動や強化スタッフの派遣及びトップコーチの招へいの支援

75,119,877円 (75,265,000円)

### (1) 国スポ強化事業

本年度の国スポ選手の強化活動を支援し、本県競技力の向上を図った。

<第78回国民スポーツ大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	119.0点	12位	39.0点	18位
本大会	709.0点	40位	495.0点	30位
合計	828.0点	35位	534.0点	31位

<第78回国民スポーツ大会入賞数>

競技・種別	成年種別		少年種別		合計	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人
男子	7	23	2	11	9	34
女子	3	16.5	2	12.5	5	29
合計	10	39.5	4	23.5	14	63
	49.5		27.5		77	

※スキー女子クロスカントリーリレーは、成年女子と少年女子に0.5ずつ按分

<第79回国民スポーツ大会冬季大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	156.0点	8位	58.0点	10位

<第79回国民スポーツ大会冬季大会入賞数>

競技・種別	成年種別		少年種別		合計	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人
男子	0	9	0	8	0	17
女子	0	4.5	0	4.5	0	9
合計	0	13.5	0	12.5	0	26
	13.5		12.5		26	

※スキー女子クロスカントリーリレーは、成年女子と少年女子に0.5ずつ按分

(2) 強化スタッフ支援事業

国スポに支援コーチ等を派遣し競技成績の向上を図るほか、強化活動現場へスポーツドクター、トレーナー等34競技延べ142名を派遣することで、障害予防やコンディショニング調整等を行い、本県競技力の向上を図った。

(3) トップコーチ等招へい事業

豊富な知識と経験を有し、高度な技術や戦術を指導・助言ができる延べ11名（6競技）のトップコーチを国内外から招へいすることで、全国やオリンピック等世界で活躍できる選手を育成するとともに、本県指導者の資質向上を図った。

(4) 国民スポーツ大会への本県選手団の派遣

第45回北信越国民スポーツ大会及び第78回国民スポーツ大会本大会並びに第79回国民スポーツ大会冬季大会に本県選手団を派遣した。

大会名	会期	開催地	派遣人数
第45回北信越国民スポーツ大会	令和6年8月25日 ～27日	石川県	838名
第78回国民スポーツ大会本大会	令和6年10月5日 ～15日	佐賀県	507名
第79回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	令和7年1月26日 ～2月5日	岡山県 群馬県	16名
第79回国民スポーツ大会冬季大会 スキー競技会	令和7年2月13日 ～16日	秋田県	95名
第79回国民スポーツ大会冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和6年12月13日 ～15日	愛知県	27名
第79回国民スポーツ大会冬季大会 フィギュア競技予選会	令和6年11月30日 ～12月1日	群馬県	11名

＜第78回国民スポーツ大会成績＞

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	119.0点	12位	39.0点	18位
本大会	709.0点	40位	495.0点	30位
合計	828.0点	35位	534.0点	31位

＜第79回国民スポーツ大会冬季大会成績＞

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	156.0点	8位	58.0点	10位

(5) 国スポユニフォーム購入補助事業

本県を代表する国スポ県選手団が着用する選手団ユニフォームの購入費の一部を22団体へ補助した。

4 社会人スポーツの推進、企業等と選手をつなぎ、U・Iターンを含めた県内定着の促進  
7,203,038円 (7,555,000円)

(1) 社会人・企業スポーツ指定強化事業

社会人競技スポーツに積極的に取り組んでいる企業、団体の強化活動等を支援し、本県の社会人スポーツの振興を図った。

(2) 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営

社会人・企業スポーツの振興のため、新潟県社会人スポーツ推進協議会を運営するとともに、協議会活動の周知及び優秀選手・指導者の定着を促進するため、会員企業等から協賛金を募り企業とアスリートの相互の情報交換を行い、スポーツを通じた社会貢献や地域活性化のための講演会を行った。また、会員企業に選手6名の雇用に繋がった。

会議名	期日	会場
総会	令和6年6月11日	白山会館
幹事会		
第1回	令和6年6月11日	白山会館
第2回	令和6年10月23日	※文書提案にて実施
第3回	令和7年3月13日	デンカビッグスワンスタジアム
講演会	令和6年6月11日	白山会館
企業・アスリート合同講演会 ※協賛金をもって3回開催	令和6年8月6日 令和6年11月20日 令和7年2月18日	ホテルイタリア軒 ホテルイタリア軒 ホテルイタリア軒

### (3) コーディネーター配置事業

優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためにコーディネーターを配置した。

## 5 公認スポーツ指導者の養成 1,513,622円 (1,792,000円)

### (1) 公認スポーツ指導者養成講習会の開催

(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づき、水泳競技コーチ1 (独自)、バドミントン競技コーチ1 (独自)、空手コーチ1 (独自)、軟式野球コーチ1、バレーボールコーチ1、ソフトテニスコーチ1の養成講習会を開催した。また、コーチ3 (中央競技団体が養成講習会を開催) については、県内14名 (8競技) が受講した。

<コーチ1>

開催競技	期日	会場	参加者数
軟式野球	令和6年11月30日 ・12月1日・7日	HARD OFF ECOスタジアム新潟	54名
バレーボール	令和6年8月31日 ・9月1日・21日	新潟県立新発田高等学校、 新発田中央高等学校、 北越高等学校	48名
ソフトテニス	令和6年11月16日 ・12月7日	三条市栄体育館	33名
	令和6年12月8日	三条市体育文化会館	
水泳	令和6年7月7日	柏崎市中央地区コミュニティ センター	14名
	令和6年9月8日	ダイエープロビスフェニックス プール	
	令和6年9月22日	アクシー中央	
	令和6年10月27日	ダイエープロビスフェニックス プール	
バドミントン	令和6年8月24日・25日	黒埼地区総合体育館	25名
空手道	令和6年11月9日・10日 ・12月14日・15日	三条市栄体育館	37名

<コーチ3>

開催競技	期日	会場	参加者数
軟式野球	令和6年11月8日 ～10日他	東大阪市クリエイターズプラザ 技術交流室他	2名
ホッケー	令和6年7月	駿河台大学、オンライン他	2名
飛込	令和6年10月29日 ～11月12日他	オンライン	1名
競泳	令和6年10月29日 ～11月12日他	オンライン	5名
体操	令和6年12月21日 ～12月25日	味の素ナショナルトレーニング センター、 国立スポーツ科学センター	1名
新体操	令和6年11月25日 ～12月1日他	国立スポーツ科学センター他	1名
ラグビーフット ボール	令和6年7月13日 ～7月14日他	立正大学熊谷キャンパス	1名
テニス	令和7年1月27日 ～1月31日	味の素ナショナルトレーニング センター	1名

(2) スポーツ指導者研修会の開催

スポーツ指導者の資質を向上するため、「選手を理解し、支えるースポーツ心理学から学ぶ選手との関わり方ー」「選手を輝かせるコンディショニングとケガ予防」を研修テーマとして開催した。

期日	会場	参加者数
令和7年2月24日	新潟ユニゾンプラザ	101名

6 体力測定・動作分析等のスポーツ医科学機能の十分な発揮による選手強化の支援

64,547,276円 (64,957,000円)

(1) 競技水準向上事業

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの有する機能を十分に活用して、競技力の向上を図った。

事業名	内容	利用者数	対前年比
体力測定	医学検査や筋力等の測定を踏まえ、基礎的・専門的な体力の把握とトレーニング内容及び方向性を検討した。	735名	157.1%

スポーツ動作分析	技術習得過程にあるジュニア競技者のスポーツ動作を評価し、競技力の向上を図る。出張撮影等、利用者ニーズに対応した。	259名	62.4%
競技力向上相談	新たなトレーニング方法の導入や、栄養、メンタル等について専門的なサポートを行った。	1,643名	180.0%

## (2) スポーツ医科学サポート補助事業

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターにおいて、国スポ候補選手及びジュニア選手等が実施する体力測定、スポーツ動作分析等の利用料金を補助した。

内容	医科学サポート補助対象者	
	利用者数 (利用比)	前年度比
体力測定	342名 (46.5%)	144.3%
スポーツ動作分析	221名 (85.3%)	67.6%
競技力向上相談	63名 (3.8%)	45.7%
合計	626名 (23.7%)	89.2%

## 7 競技水準向上対策運營業務の推進 37,007,619円 (36,633,000円)

### (1) 競技水準向上対策事業の推進

関係諸会議の開催をはじめ、全国情勢の把握、国スポ等への視察と激励、競技結果等の調査分析と競技団体への個別ヒアリング・指導などを行った。

会議名	期日	会場
国スポ実施競技団体理事長・強化総括責任者会議 第1回 第2回 第3回	令和6年6月23日 令和6年11月10日 令和7年3月8日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 新潟県立生涯学習センター
国民スポーツ大会監督会議・結団式	令和6年9月8日	新潟ユニゾンプラザ
競技団体ヒアリング	令和6年10月29日 ～12月24日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

## II 公益スポーツ団体としての取組

### 第1 スポーツ・インテグリティを強化する [公益事業]

<県補助、JSP0受託、自主>

新潟県のスポーツ文化の健全な発展のため、当協会及び加盟団体等におけるスポーツ・インテグリティの確保・強化に向けて、クリーンでフェア、安全で安心なスポーツ環境の整備に努めた。

## 1 スポーツ・インテグリティ強化への取組 910,413円 (1,669,000円)

### (1) スポーツ・インテグリティ推進事業

スポーツ・インテグリティを確保・強化するための研修会を4回開催するとともに、加盟団体等が実施する研修会に9件補助した。

研修会（直接開催）	期日	会場
第1回	令和6年10月5日	佐渡中央文化会館
第2回	令和6年10月6日	上越市教育プラザ
第3回	令和6年11月10日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第4回	令和7年3月7日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

### (2) アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

アンチ・ドーピングの普及・啓発活動を推進するため講習会を開催するとともに、体力測定利用者への啓発を行った。

## 2 スポーツ団体ガバナンスコード遵守への取組

### (1) 加盟団体連携会議の開催【再掲】

### (2) 競技団体理事長・強化総括責任者会議の開催【再掲】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>の遵守、特に自己説明の公表に向けて、各種会議等の場を活用するなどして、加盟団体の取組を促進した。

また、当協会として直ちに遵守することが困難な規定、特に女性理事割合の向上については、設定した目標達成のために具体的な方策を検討・実施した。

## 第2 スポーツ推進環境を整備する [公益事業]

＜県補助・自主・その他＞

スポーツの啓発や、安心なスポーツ環境づくりなどを通じて、スポーツ推進環境の整備に取り組んだ。

## 1 スポーツの啓発・推進 840,104円 (967,000円)

### (1) 地域スポーツ人材養成事業

地域におけるスポーツ人材養成のためのセミナーをオンラインで2回実施するとともに、幼児期からの運動習慣アップ支援事業で養成した地域専門人材のブラッシュアップセミナーを開催した。

演題等	期日
最新版 生成AI入門セミナー（オンライン）	令和7年2月18日
最新版 生成AI実践セミナー（オンライン）	令和7年3月12日
地域専門人材ブラッシュアップセミナー（新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター）	令和7年3月1日

## （2）表彰の実施

委員会名	期日	会場
表彰選考委員会	令和6年11月15日	デンカビッグスワンスタジアム

### 表彰受賞者（敬称略）

表彰名	氏名	所属・推薦団体	表彰式 期日・会場
スポーツ栄光賞	古俣 聖	株式会社本間組	令和6年12月21日 アートホテル 新潟駅前
スポーツ功労者賞	鶴木 良夫	新潟県ボクシング連盟	
優秀指導者賞	小玉 裕道	（一財）新潟県水泳連盟	
	荒木 駿凶	（一財）新潟県水泳連盟	
	古俣 治久	新潟県フェンシング協会	
公認スポーツ指導者賞	川津 日出子	（一財）新潟県水泳連盟	
優秀競技者賞	84名	7団体	
奨励競技者賞	14名	3団体	

## （3）協会ウェブサイトの運営

スポーツ情報及び当協会の活動内容等の情報発信と、公益法人としての情報公開に努めた。

## 2 安心なスポーツ環境づくり 3,600,000円（3,600,000円）

### （1）スポーツ安全保険の普及

スポーツ安全保険の普及奨励やスポーツ活動等の安全指導の取組を充実するため、普及広報活動を実施した。

## 3 加盟団体との連携強化 0円（45,000円）

### （1）加盟団体連携会議の開催

加盟団体との連携を強化するための会議は開催しなかったが、適宜加盟団体に対して情報提供を行った。

### 第3 人員体制及び財政基盤を持続的に強化する [法人事業]

＜自主＞

当協会の人員体制の強化に向けて、人材育成に取り組んだ。

また、当協会の財政基盤について、企業協賛事業の積極展開などにより自主財源の安定的確保を図るなど、持続的な強化に取り組んだ。

#### 1 人材確保と資質の向上 一円（一円）

##### （1）職員の資質・能力向上の取組【一部再掲】

「人材育成基本方針」に基づき、職員の確保及び個々の資質・能力の向上と職場の活性化に向け、OJTの充実を基本としつつ、スポーツ・インテグリティ研修会をはじめ、外部研修の活用など、人材育成に組織的に取り組んだ。

#### 2 財務の健全性の維持及び自主財源確保に向けた取組 一円（一円）

##### （1）財務の健全性、自主財源の確保その他

賛助会費や寄附金の安定化に向けて、効果的な方策を検討し、適切な資金運用により着実な収益確保に努めたほか、公益財団法人日本スポーツ協会の補助・委託事業を積極的に活用し、各種事業の充実と財政基盤の強化に努めた。これらの取組により、正味財産比率（正味財産合計／資産合計）は、前年度比0.7ポイント増加して85.4%となった。

##### （2）にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの推進【再掲】

趣旨に賛同いただいたパートナー企業の協賛を得て行う「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」の3年目に当たり、これまでの実績・ノウハウ等を踏まえて持続可能な事業として定着させるよう、企業協賛金4,400千円を目標としたところ、3,190千円を獲得した。

### 第4 適切な組織運営その他 [法人事業、収益事業]

＜自主、その他＞

公益スポーツ団体として、また、県内唯一のスポーツ統括団体として適切な組織運営を確保するための諸事業を行い、スポーツ推進を通じてSDGsへの貢献に努めたほか、創立100周年を見据えた準備に着手した。

#### 1 適切な組織運営等 28,424,356円（18,217,000円）

##### （1）理事会、評議員会の開催

会議名	期日	会場
評議員会 定時 決議の省略の方法による 臨時	令和6年6月20日 令和7年1月16日 令和7年3月21日	アートホテル新潟駅前 — デンカビッグスワンスタジアム
理事会 第1回 第2回 第3回 第4回	令和6年6月6日 令和6年6月20日 令和6年12月13日 令和7年3月5日	デンカビッグスワンスタジアム アートホテル新潟駅前 デンカビッグスワンスタジアム デンカビッグスワンスタジアム

## (2) 専門委員会の開催

令和6年度は、専門委員会を開催しなかった。

## (3) 加盟団体等との連携強化

加盟団体をはじめ、賛助会員等、広く当協会を支援くださる方々との親交や連携を深めるため、次の諸事業を開催した。

事業名	期日	会場
ゴルフ大会	令和6年7月25日	ヨネックスカントリークラブ
新年会	令和7年1月18日	ANAクラウンプラザホテル新潟

## 2 SDGsへの貢献 一円（一円）

### (1) にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの推進【再掲】

スポーツの持つ力がSDGsの達成に貢献しうる効果的な手段であることに着目し、上記をはじめ諸事業を通じて参加者や関係者とともに、その取組を広げ、目標達成に貢献した。

## 3 創立100周年を見据えて【再掲】 2,261,832円（913,000円）

### (1) 創立100周年記念事業準備委員会・部会の運営

令和8年7月の創立100周年を見据えて、準備委員会の下でスローガンやロゴマークの制作など必要な取組を実施した。

会議名	期日	会場
創立100周年記念 準備委員会 第2回 第3回 第4回	令和6年6月6日 令和6年12月3日 令和6年12月13日	デンカビッグスワンスタジアム 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター デンカビッグスワンスタジアム

4 収益事業 2,657,869円 (3,060,000円)

(1) 施設貸出事業

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの研修室等利用のうち、公益目的に該当しない利用目的で貸出している研修室等について管理運営した。